



# 策定経過



## 1

## 策定経過

策定経過	主な内容	
		<b>2018年</b>
第1回策定委員会	策定方針	10月29日
第2回策定委員会	策定方針	11月19日
		<b>2019年</b>
第3回策定委員会	策定方針、アンケート	2月4日
総合計画市民アンケート実施	3,000票発送、有効回答1,021票	4月～5月
中学3年生・高校3年生アンケート実施	有効回答 907票	4月～5月
市民意識調査実施	1,500票発送、有効回答789票	6月
第1回市民ワーキンググループ	理想のまち	8月 3日
第2回市民ワーキンググループ	湖西市の特徴、将来性・危険性	8月31日
第3回市民ワーキンググループ	キャッチフレーズ	9月21日
第4回策定委員会	市民ワーキンググループの結果報告	10月15日
第1回審議会	諮問、策定方針の確認、まちの将来像	11月11日
		<b>2020年</b>
第5回策定委員会	基本構想素案、実践計画体系	1月21日
第2回審議会	基本構想素案、キャッチフレーズ	2月 4日
第6回策定委員会	基本構想素案、全体像の確認	2月25日
令和元年度第2回未来ビジョン会議	全体像の確認、人口ビジョン	2月28日
第7回策定委員会	実践計画体系	4月10日
第8回策定委員会	実践計画4つの戦略、キャッチフレーズ	7月 6日
第3回審議会	実践計画4つの戦略、キャッチフレーズ	7月21日
市民意識調査実施	2,500票発送、有効回答1,280票	8月
令和2年度第1回未来ビジョン会議	実践計画4つの戦略、総合戦略との統合	8月27日
第9回策定委員会	実践計画素案	10月 5日
第4回審議会	実践計画素案	10月13日
第10回策定委員会	実践計画重点施策	12月 7日
第5回審議会	実践計画重点施策	12月11日
パブリックコメント実施		12月～1月
		<b>2021年</b>
審議会答申		1月28日

# 2 市民ワーキンググループの概要

## 2

まちの将来像(キャッチフレーズ)の素案の作成を目的とし、総合計画市民アンケート(3,000票発送)の対象者から、参加者を募集しました。アンケートに回答いただいた1,022名の内、興味を持っていただいた96名の方と日程調整を行い、最終的に25名の方に参加いただき、まちの将来像(キャッチフレーズ)の素案を10案作成しました。基本構想の「Road to KOSAI 2040」のキャッチフレーズはこの素案をベースにしています。

### 第1回

- 市長あいさつ、オリエンテーション
- 他自治体の「まちの将来像」を知る
- 市民アンケート結果報告
- 理想のまちとは？
- 理想のまちの項目を分類し、優先順位を考える



▲グループワークの様子(第2回)

### 第2回

- 湖西の特徴は？
- 湖西の特徴の可能性や将来性、危険性は？
- 湖西の特徴を更なる強みにしていくには？



▲グループワークの様子(第3回)

### 第3回

- まちの将来像(キャッチフレーズ)に入れたいワードを考える
- まちの将来像(キャッチフレーズ)を組み立てる

## 市民ワーキンググループで作成したキャッチフレーズ案

歴史と文化 自然も心も豊かなまちへ KOSAI
人・歴史・文化が交わる 住みよいまち KOSAI
食よし!業よし!!遊びよし!!! ~住みたくなるまち Smile KOSAI~
色・職・食 ~住みたくなるまち Smile KOSAI~
「人・自然・産業」未来への創造と調和 チャレンジ湖西!
絆広がる 安全・安心 わがまち湖西
人がスキ!自然がスキ!産業がスキ!コーちゃんと一緒にスキ!を創造
産業・自然・歴史の交差点 KOSAI SAIKO
明るく やさしい 住みたいまち KOSAI SAIKO
ひと・自然・産業 未来へ続く Best balance city KOSAI

## 3

## 湖西市総合計画審議会

## 第1回

- 委嘱状交付、市長あいさつ、会長・副会長の選出、諮問
- 策定方針について
- まちの将来像について(グループワーク)

## 第2回

- 基本構想素案について
- キャッチフレーズについて意見交換

## 第3回

- 実践計画 4つの戦略について
- 基本構想 キャッチフレーズについて

## 第4回

- 実践計画素案について

## 第5回

- 実践計画 重点施策と重点基本事業について



▲審議会の様子(第5回)



▲市長へ答申

職務	委員氏名	所属等
会長	井川 あい子	民生委員・児童委員協議会 会長
	池上 重弘	静岡文化芸術大学 副学長
	大石 倫正	静岡銀行 湖西支店長
	加藤 享嗣	(株)デンソー 湖西製作所 所長
	柴田 和利	湖西市商工会 事務局長 (第1回～第2回)
副会長	二橋 和久	湖西市商工会 事務局長代理 (第3回～第5回)
	白井 祐子	しらゆりこども園 園長
	末吉 由佳	多文化共生社会推進協議会 委員
	竹島 清一	自治会連合会 会長
	中島 治保	浜名湖青年会議所 理事長
	中野 七海	Kosai Saiko Labo
	袴田 雄司	湖西市教育委員会 教育委員

※役職は就任時点のもの

令和3年1月28日

湖西市長 影山 剛士 様

湖西市総合計画審議会  
会長 池上 重弘

湖西市総合計画の策定について（答申）

令和元年11月11日付湖企画第145号にて諮問のあった事項について審議したので、次のとおり答申する。

【諮問事項】

- (1) 基本構想に関する事
- (2) 基本構想に基づく基本計画の策定に関する事

記

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、人々の生活、働き方、価値観などが大きく変わろうとしている。社会の動向や市民の需要をしっかりと把握し、どこに力を入れて、どこかの力を抑えるか優先順位を付け、施策の着実な実行に努められたい。なお、施策の進行管理に当たっては、成果指標の達成度を示すKPIを設定されたい。

また、先進自治体の取組や成果を分析し、有効な取組は積極的に市政に反映されたい。

2 まちの将来像について

まちの将来像を示すキャッチフレーズについて、本市の外国人比率が高いという特徴、生まれ育った子ども達が戻ってきたくくなるようなまちであることを踏まえ『「ひと・自然・業（わざ）」がつながり 未来へ続く わがまちKOSAI』を原案として提示する。

3 人口減少対策について

本市の持続可能な発展のため、現状推移から人口の目標を設定し、少しでも減少幅を緩和されたい。

本市においても少子化や若い世代の転出が目に見えて顕著になっている。昼夜間人口差の解消に向けた施策を実行するとともに、若い世代が進学や就職で湖西市を離れても、暮らしやすいまちづくり、若い世代が魅力を感じるまちづくりを進めることにより、戻ってきたいと思う湖西市にする必要がある。施策の実施に当たっては、市民の考えと乖離していないか、成果につながっているか、しっかりと分析を行い、特に空き家の利活用や土地利用の促進などを重点を置いて実行されたい。

市内の出産環境は、若い夫婦の定住にとって重要なポイントである。市内に産科ができ、より近くで出産できることが望まれるが、近隣自治体の設備の整った大きな病院で安心して出産できる体制も望まれる。こうした病院との連携体制を構築されたい。

さらに、子どもを育てる環境は子育て世代の定住にとって重要なポイントである。小中学校の教育環境、特に校舎の老朽化対策を計画的に実行されたい。

移住定住の地として選ばれる決め手は、千差万別であるが、湖西市だからこそその決め手を見定め、PRに努められたい。

4 超高齢社会への適応について

今後、少子化が進む一方、高齢者が増えていくと想定され、超高齢社会に適応することは今回の計画の大きなテーマである。市民がいつまでも自立した生活ができるよう、自身の健康への意識付けを行うことが何よりも大切となる。職住近接だけでなく、健康寿命の延伸や地域医療の満足度を高める施策を展開されたい。

また、公共交通については、需要をしっかりと分析し、様々な手段を組み合わせ、最適な公共交通の構築を目指されたい。

5 産業について

生産年齢人口の減少により、労働者不足や人材不足が課題となっている。モノづくりのまち、豊田佐吉翁生誕のまちとしての地域ブランドを確立させ、人材育成を行うことが重要となる。子どもたちがモノづくりにいかに興味を持ってもらうか、産業を支える人材をどう育成し確保していくか、オール湖西で取り組まれたい。

また、モノづくり産業だけでなく、農業や漁業、観光業についても現状分析のうえ、振興施策について取り組まれたい。